



七里っ子

【学校教育目標】

確かな学力 豊かな心
健康な体 郷土愛

道志小学校 学校だより 令和6年3月6日

文責：校長 佐藤龍文

温かい心と心のつながり～6年生に贈る会～

2月22日に6年生に贈る会を実施しました。お世話になった6年生に感謝の気持ちを伝えるために新執行部（令和6年度児童会）が中心となって企画し準備を進めてきました。1～5年生までの各学年がそれぞれの役割を分担し、みんなの力を合わせて創り上げました。招待状づくりや飾りづくり、会場の飾りつけ、プレゼント、そして出し物等、子ども達一人ひとりが6年生のために一生懸命、準備や練習に取り組んでいました。各担任を始めとする職員も、6年生にとって素晴らしい会になるように、子ども達を全力でサポートしてくれました。

当日、会は6年生の入場から始まりました。会場は参加者の温かい心に包まれているように感じられました。6年生一人ひとりを紹介する場面では、それぞれの個性豊かでエネルギッシュなアクションで盛り上がりました。自分たちのために6贈会を開いてくれた1～5年生にしっかりと感謝と喜びの気持ちを返していこうとする意気込みが伝わってきました。

各学年の出し物は、それぞれが工夫を凝らし、子ども達と担任が相談して作り上げたもので、どの学年（3・4年は合同）も楽しく、6年生への思いが伝わってくる内容でした。6年生は、一つひとつの出し物を見ながら終始ニコニコと楽しそうでした。在校生からの心を感じ取っているようでした。出し物の最後は6年生。自分たちの出し物で表現する姿からは、在校生の気持ちに伝えようとする6年生の温かい心と決意が伝わってきました。記念写真と縦割り班の仲間からのコメントで埋め尽くされた色紙を1年生から受け取った後、全校でつくったアーチを6年生がくぐりながら会の締めくくりをしました。とても素晴らしい会だったと思います。

少人数で全校の結びつきが濃い本校ですが、お互いが感謝の気持ちを伝え合う6贈会での子ども達同士の心の交流に触れるといつも心が温かくなります。素直な気持ちが伝わってきます。この会で得られた温かい心を子ども達の次の活動に生かしてもらえればと思います。



ディラン先生ありがとうございました

2月28日の昼休みに臨時全校集会を開き、ALTとして英語の指導をしていただいたディラン先生とのお別れ会をしました。ディラン先生は、南アフリカ共和国出身で本校での勤務は1年間でしたが、常勤で毎日道志小学校に来てくれました。外国語専科の小山先生やジーン先生と一緒に英語を楽しく分かりやすく教えてくれました。低学年を中心に他の教科のお手伝いもしてくれました。また、休み時間にドッジボールやサッカーと一緒にやってくれる優しいお兄さんのような先生でした。ディラン先生は、次は大阪で音楽の先生をされるそうです。短い間でしたが、道志の子ども達のために本当にありがとうございました。

